

渋谷区立代々木中学校【令和6年度 未来の学校ビジョン】

- 豊富な人材の活用
 - ・教職員
 - ・スクールサポートスタッフ
 - ・学習支援員
 - ・介助員、外国語通訳サポート
 - ・渋谷ユナイテッドコーチ
 - ・シブヤ未来科ファシリテーター
 - ・PTA
 - ・学校運営協議会
 - ・地域学校協働活動推進員
 - ・保護者OB・教職員OB
- 適切な予算執行
 - ・学校徴収金
 - ・学校予算等
- 特色ある授業と行事運営
 - ・授業（シブヤ未来科含む）
 - ・入学式、卒業式
 - ・体育祭
 - ・もみの木祭
 - ・修学旅行、スキー移動教室
 - ・各学年校外学習
 - ・朝ランニング
- 整備されたICT環境の活用
 - ・タブレット一人一台端末（マイクロソフト・グループウェア、学習支援ソフト等）
 - ・校内Wi-fi、校外LTE回線
 - ・校務支援ソフトC4th
- コロナ禍後の対応
 - ・場面に合わせたオンライン授業継続実施
 - ・心の教育の充実

- ・デジタル・シティズンシップ教育によるデジタルコミュニケーションの推進と探究的な学びの推進。
- ・デジタルネイティブ世代を生きる生徒の資質向上
- ・言語活動を積極的に取り入れた主体的・対話的で深い学びの実施
- ・「シブヤ未来科」での地域人材や友達とのかかわり等を通して、自分自身のモラルの向上、多様性の理解及び郷土愛の育成。
- ・綿密な計画、科学的・合理的で能力・体力に応じた練習や活動により、文化・スポーツで活躍できる生徒の育成。
- ・特別支援コーディネーターを中心とした計画的な特別支援教育の実施。他者を思いやるとともに、自分の「よさ」、他者の「よさ」を発見できる心の育成。
- ・組織的ないじめ問題への対応を行い、いじめや困り感のSOSを見逃さない、いじめをしない・させない・許さない風土の醸成。
- ・ICT機器を活用した家庭との連携 Home&Schoolによる文書配布と保護者からの欠席連絡。三者面談の対面・オンライン選択制。
- ・働き方のクリエイティブ化 部活動地域移行に向けた推進、C4thによる勤務状況の数値化。

- ・生徒がWord、Excel、PowerPointを日常的に使用し、進学後や将来において直ちに活用できる。
- ・一人一台端末を有効活用して思考を可視化できるツールを使用し、他者の考えを尊重するとともに、「書く力」、「聞く力」、「話す力」を育てる。
- ・未来を生きる生徒たちに必要な力である「探究」や「協働」する力を育てる。
- ・渋谷ユナイテッドと連携し、地域移行に向けた部活動運営を推進する。
- ・多様な生徒の個性、能力、発達段階に応じた活動による共生社会の形成。
- ・学級、学年のリーダーの育成を図り、互いの「よさ」を伸ばし合う。
- ・セーフティ教室、SOSの出し方教室の実施。
- ・職員会議、校内研修のオンライン活用。
- ・朝礼、集会等のオンライン活用。
- ・体育祭、もみの木祭等、内容精選等コロナ禍後の実態に即した運営。
- ・出退勤管理によるライフ・ワーク・バランスの推進。

- ・ICT機器を日常的に使用できる「学びのツール」として活用できる能力の定着。
 - ・言語活動の充実、「探究」と「協働」による学習の定着。
 - ・デジタル、アナログの長所を活かした教育環境のクリエイティブ化。
 - ・豊かな心の醸成。
 - ・コンプライアンスの徹底。
- デジタル技術を浸透させ、未来の自分に役立てる授業デザインの設計。
 - シブヤ未来科の授業はすべての生徒が生涯に渡るアクティブラーナー。
新たな学びの実現（未来の学校に向けた学びの改革）
 - いじめ、体罰（不適切な指導・暴言含む）、スクール・ハラスメントの根絶。
 - 合理的配慮に基づいたインクルーシブ教育。
安心・安全に挑戦できる環境
 - 生活をより便利且つ良いものへ変革。
校務DX（働き方改革）